我が社で取り組む省エネの進め方

の運搬に必要な船舶産業も発展するだろう。

産業の育成も必須だ。電動化を背景に自動車

囲まれた日本の立地を生かした洋上風力や、

今後成長が期待される分野としては、海に

次世代型太陽光関連産業。 CO2を発生しな

発電燃料としてアンモニアや水素、原子力

# 北海道の未来を創る環境ビジネス

# 環境産業ビジネスセミナー

で今後、日米協調が一層進むと見られる。

分科会

B

EMSを活用した省エネルギーシステムの開発について

フランスや英国で40年までにガソリン・デ

北海道電気相互 代表取締役

高橋

伸和氏

相当の発電機の導入をサ

府発電機では、<br />
昨年度には計1300m<br />
ボジ

物に電気を届ける電気の

**毛配便「イーデリバ** 

ト。停電した建

-」も提供している。

エコまめの特徴は。

電気設備工事とエネルギー管理シス

## 25日から日経チャンネルで無料配信

北海道の未来を創る環境ビジネス「環境産業ビジネスセミナー」は新型コ ロナウイルス感染対策のため2月10日に事前収録されました。当日の模様は 2月25日より下記URL(日経チャンネル)でオンライン配信されます。

https://channel.nikkei.co.jp/e/h ecobiz2021

# 持続可能な社会へイノベーション

脱炭素化への機運が高まる中、環境・エネルギー産業への期待が膨らんで いる。特に北海道は太陽光、風力、バイオマスなど新エネルギー開発の先進 地であり、積雪寒冷地に対応した省エネ技術の取り組みにも意欲的だ。こう した知見を活用し、二酸化炭素(CO2)削減にも資する環境ビジネスへの新

規参入、事業推進を目的に、北海道では「環境産業ビジネスセミナー」を開 催。同産業を取り巻く情勢を展望する基調講演、北海道で実際に進められて いる取り組み事例や省エネノウハウなどを紹介する分科会をオンラインで実 (コーディネーターは「日経エネルギーNext 」編集長 山根小雪氏)

# りし 成長戦略

が誕生。2050年までに経済全体でCO2 **え方と共通しており、環境・エネルギー** 略の中核にイノベーションを据える日本の考 ・風車の設置、環境車の購入促進、脱炭素 の再加入も表明、環境に悪影響を与える地 米国では環境問題に前向きなバイデン政権 した。こうした姿勢はグリーン成長戦

が、これからどのタイミング、規模で導入さ となるのが次世代型太陽電池、 電池車やハイブリッド車などを含む電動車 国で車の電動化を推進する政策を実施。燃料 規制緩和や標準化などにも取り組む方針だ。 つなげるグリーン成長戦略を打ち出した。鍵 エネルギー政策の推進で産業・経済の発展に で「50年の脱炭素社会実現」を明言、環境・ れていくか、各国の進展状況も見守りたい ィクルなどの革新的イノベー 日本では菅首相が昨年10月の所信表明演説 ゼル車の新たな販売が禁止されるなど各 再生可能エネルギー 金融などで支援する一方、 などで、その推進に カーボンリサ ション、省エ



京大学特任教授)産業評論家(元通商産業省企画官、 前東

進藤 勇治氏

# 環境・エネルギー業界の展望激動する世界情勢と

・使用合理化専門員・一センター

企業が省エネを図るメリットは①エ の有効活用を図れる②地球温暖化防 多様な技術を賢くアレンジ

> の省エネ対策を参考にすることも重要だ。 ら活動のレベルを上げて: 省エネ技術はエネルギ 「うまく使う工夫」

組み合わせながら賢い省エネを実現したい。 、蒸気バルブの保温、 上夫」の3つに分類される。 へ、コンプレッサー 山根 スタッフもノウハ ター化などがあり、これらを状況に応じて 冷温水機の冷水出口温度の変 -の吐出圧力低減とインバ 高効率照明設備の導 「捨てずに回収する 、ウもない小規模事 -を「使わない工 具体的には蒸気

ごとに節電診断、省エネ診断が無料で受けら に相談してほしい。センター 平野 まずは省エネルギ 業者が上手に省エネを進めるためには。 Sindan-net センター ナーセンターに気軽 では、個別の企業

継続的PDCAの実施

ており、取り組みの参考になるはずだ。 しもらえる。多種多

2.3 省エネ活動のPDCAサイクル

を生む。省エネは今や不可 売り上げを1500万円増やすのと同じ効果 1億円の企業が光熱費を10%削減すると、 エネルギー

減になる⑤企業評価が高まる-

の5つ。特

に収益に及ぼすメリットは大きく、例えば年

止対策になる③法令が順守できる④コスト削

e-PEP 企業の自社エネルギー活用のメリット

する。それを基にPDC・ 状を把握した上でエネルジ

いく。その際、他社 A(計画・改善・検 管理体制を整備

訨・見直し) サイクルを継続的に実施しなが

ステムを着想。廃プラスチックをクリーンに はなくエネルギー

常務取締役 環境ソリューション部 部長エルコム

たことから、プラスチックごみをリユースで チロール製ブイのごみ処理が問題になってい 海岸に流れ着く発泡ス

-として再利用するためのシ

①い近くのCO2削減効果もある。

どんな業種から引き合いがあるか。

省エネできる。外部委託処理に比べ年間30

嵩央氏

を確立。ペレット化したり破砕したプラスチヴォル」を開発し、それを中心に燃料化技術

燃焼させる樹脂ハイブリッドボイラー

システム「e-PEP」を開発した。独自の

ックを燃料とする、小型プラスチック燃料化

燃焼方式で安全かつクリーンに熱エネルギー

にでき、変換効率70%を実現。既存のボイラ

とタンクに付属させれば既存燃料を大幅に

# 廃プラ燃やし省エネ実現

面など様々な観点で導入できるよう造り込ま の多い離島の悩みも解決したい 却期間で導入できるコスト面だ。漂着する年 る点、処理の外部委託費用が削減できて短償 れているポイントは、コンパクトさ、ボイラ リサイクルに活用されている。多くで評価さ 広い。コープさっぽろでは、色付きトレーの ラスチックメーカー、自動車メーカーなど幅 いた長崎県対馬にも最近納入した。漂着ごみ 間3000袋に及ぶフロートの処理に困って 山根 規格なので消防への届け出だけで導入でき コストに厳しい企業が経済性と環境 スーパーなど小売業や食品工場、

れたシステムが、自治体や地域の環境問題も 良い循環が生まれている。

を自社開発し、案件ごとに現地調査から設テム(EMS)に注力。EMS「エコまめ」 まで一貫してサービス提供する。 BCP対策 計・製造、設置、導入後のコンサルティング EMSと電気の宅配に力

> 至温を快適に保ちながら省エネを図るなど、 間帯ごとの電気やガスの 高橋特に小売業で広く導入されている。 昇を抑えている。 の使用量を監視し、

条件ごとにきめ細かい自動制御を実施してい り短時間動かすだけで解決できる。機動力の 一資格を持つ当社従業員が急行する。 い小型トラックに電源 山根
イーデリバリー ターや給水ポンプを一時的に動かす用途な 高橋 停電で止まったマンションのエレベ 現場に合わせ使うものだけを選択しコス とは。 ンステムを載せ、

た社員の方々がいてこその、

つある技術を持っ

新しくてきめ細

菅首相が2050年のカーボンニ ュートラルを表明するなど脱炭 素の動きが加速している。しか し、脱炭素実現は並大抵のこと ではない。ライフスタイルや都 市機能を大胆に変える必要があ り、まさに新しい産業革命だ。

「CO2削減」「環境」には大き な市場があり、北海道の企業に とっても新たなビジネスとして 取り組むメリットは大きい。投 資面でも、I T系、ネット系べ ンチャーに流れていたお金がE SGの領域に流れ込んでくるだ ろう。その流れをセミナーで一 層身近に感じたのではないか。

特に今回は環境トレンドをビ

ジネスに落とし込んだ新しい取

(J 産業革命 脱炭

う省エネセンターの取り組み。 る格好の場になったと思う。

# コーディネーター · 山根 小雪氏

クラウド上での管理も可能だ。

山根 どんな業種の顧客か。一件ごとの造

込みでコストは上昇しないのか。

ダを局所的に自動制御する省エネシステムで

こて、ピークカット制御

電気、ガス、

水道の使用量も可視化

温湿度制御等、

り組みが多かった。ブラックア ウトを契機に高まった電力不安 を解消するサービスとして登場 した電源車。独自の技術を生か して海洋プラスチック問題に向 き合った中小企業の挑戦。小規 模事業者に寄り添った助言を行 今回のセミナーは新しい時代へ 三者三様のアプローチをPRす

### 告 広

## 主催:北海道

e-PEPシスティ廃プラからクリー

- PEPシステムの開発について~セルフリカバリーとは

ン熱エネルギーを創出する